

令和4年度 第1回 舞阪中学校学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年4月20日（水） 13時20分から15時00分まで
- 2 開催場所 舞阪中学校 1階 会議室
- 3 出席委員 渡邊 東一、鈴木 孝一、江間 雅尾、河合 數馬、小内 正枝、片桐 美恵子、
本多 有美、佐々木 雄一
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 河合 一徳（舞阪協働センター副所長）
- 6 学 校 中村 真由美（校長）、川合 公孝（教頭）、鈴木 朱美（教務主任）、
榊原 大輔（CS担当職員）、宮崎 友貴（CSディレクター）
- 7 教育委員会 小川 誠司（教育総務課）
- 8 傍 聴 者 0人
- 9 協議事項

- (1) 学校運営の基本方針について
- (2) 教育計画について
- (3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

- 10 会議録作成者 CSディレクター 宮崎 友貴

11 会議記録

司会の榊原大輔（CS担当職員）から、委員総数8人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。議長は前回承認された江間雅尾委員が務めた。

(1) 学校運営の基本方針について

議長の指示により、中村真由美校長から、別紙資料に基づき、今年度の学校運営基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・with コロナの中で学校がどうやって取り組んでいくか意気込みは感じられた。基本方針案を進めてほしい。ICTは家庭によって条件が異なるため、指導が個々に届くかが課題。教える側でも差が出ないようお願いしたい（鈴木委員）
- ・本校の特色である「いのちの教育」、「キャリア教育」、「SDGsの推進」の3つについては、継続して取り組んでいただければと思う（河合委員）
- ・with コロナで「学びを止めない」ところから踏み込んで「学びの充実」へ進んでほしい。今日の授業参観で生き生きと学ぶ姿を見せてもらった。子どもが輝く良い授業をぜひ。全国的にいじめ問題がいろいろあるが、足元を見つめながら命の教育を実施してほしい（渡邊委員）
- ・昨今いじめ問題は強く言われているが、弱者に対する思いやりや優しさを育ててほしい。考え方が違って認め合うことで弱い人に寄り添ってほしい。SDGsにもつながる（片桐委員）
- ・親としてこんなに子供達のために経営を考えてくれてうれしい。学校でも舞阪を重視した活動

があり、地元で仲間と一緒にやるのが大事。そろそろ祭りが復活してほしいと思う（小内委員）

- ・初めて経営方針の説明を聞いたが、親から見てコロナ禍で人との関わりが少なく、友達の立場に立って考えることが難しかったと思う。そのような機会を増やしていくことが大切。18歳成人は子供にとって負担も大きいのでは（本多委員）
- ・生徒数を知って少子高齢化だと感じた。最近では地元の祭りに出ない子もいて、舞阪にいて舞阪のことを知らない人が増えている。中学生を地域の財産として育てたい（佐々木委員）
- ・学校内の掲示物などから舞阪をベースに教育を進めてくれていると感じうれしかった（河合協働センター副所長）

議長より、大きな柱に向けて小さなことを積み重ねていくことが大切で、「地域愛」を育てる地域に根差した教育を行ってほしいとの発言があった。中村校長の学校運営基本方針は、全員意義なくこれを承認した。

（2）教育計画について

鈴木朱美教務主任から、別紙資料に基づき、今年度の教育計画について説明があった。委員からの発言は、以下の通りである。

- ・3年生の修学旅行の行き先は、京都・奈良方面か。コロナで日程が変わることもあるか。変更する場合の判断基準はどのようなものか（鈴木委員・江間委員）

中村校長から、静岡県は「ふじのくにシステム※」を参考にしており、静岡県と行き先、両方のコロナの状況を見て判断しているとの説明があった。全員異議なく教育計画を承認した。

※6段階警戒レベルとレベル毎の行動制限を決定・公表するシステム

（3）夢育やらまいか事業に対する意見書について

川合公孝教頭から、別紙資料に基づき、夢育やらまいか事業に対する意見書（案）について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・子供達には舞阪の魅力を継承してもらいたい。地域の人とどのように関わっていくか真剣に考えていかなければならないと思う。成人年齢が18歳に引き下げられたが、どうやったら子供がたくましく育つかを考え、子供にとって舞阪が居心地のよい場所としたい。アフターコロナで取り組むべきことはたくさんあり、将来にどう影響するか心配でもある（鈴木委員）

夢育やらまいか事業に対する意見書（案）は全員異議なくこれを承認した。

議長より、新年度となり新しい委員と校長を迎え、昨年度からの積み重ねを生かして新たな気持ちでスタートし、この学校運営協議会を有意義な会としたいとの発言があった。

その他報告事項等

川合公孝教頭から、今後の開催日時について、第2回の会議は開催日を変更し、令和4年7月11日（月）午後1時20分から1階会議室で開催する旨の報告があった。

なお、協議内容については、昨年度より熟議している「登下校の安全指導について」を継続しつつ、舞阪地区との連携推進において新しく取り入れていきたいことを委員から募る予定である旨の説明があった。

第2回議長の選出について、議長から小内委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。